

外航コンテナの国内フィーダ輸送実績（22年度報告）

平成22年度における外航二次コンテナ輸送量の実態調査結果は以下の通りである。

1. 調査対象会社

内航海運事業者、旅客フェリー（長距離フェリー）事業者の内、前回の調査対象会社で輸送実績のあった事業者を中心に、13社に対して調査を実施した。

(1) フィーダ・コンテナ輸送事業者

調査を依頼した13社（21年度14社）の中、輸送実績のあった事業者は13社（19年度13社）であった。

(2) 使用船腹

使用船腹は、貨物船6隻（21年度6隻）、コンテナ船33隻（21年度30隻）、RORO船4隻（21年度3隻）、RORO・コンテナ船3隻（21年度1隻）、フェリー9隻（21年度13隻）、その他2隻（20年度3隻）であり、その中に共同運航が2隻あることから、合計55隻（21年度54隻）となった。

2. 調査結果

調査結果について下記に要約する。なお、詳細を4～11頁に示す。

(1) 輸送実績

実入コンテナ	383,011	TEU	(21年度対比 約 9.3% 増)
空コンテナ	236,021	TEU	(21年度対比 約 7.1% 増)
総計	619,032	TEU	(21年度対比 約 8.4% 増)

なお、平成13年度以降の実績推移から、合計及び実入の輸送量は、平成19年度をピークとしてともに過去2年間減少していたが、平成22年度は一転して増加に転じた。

(2) 積地・揚地別輸送量

平成22年度における積地別の輸送量は、関西（約197千TEU、31.8%）、関東（124千TEU、20.0%）、中国（75千TEU、12.1%）、東北（55千TEU、9.0%）、中部（52千TEU、8.4%）、四国（50千TEU、8.1%）、九州（50千TEU、8.0%）、北海道（16千TEU、2.6%）の順であり、揚地別の輸送量は、関西（約196千TEU、31.6%）、関東（123千TEU、19.9%）、中部（72千TEU、11.7%）、中国（71千TEU、11.5%）、東北（56千TEU、9.0%）、四国（46千TEU、7.4%）、九州（42千TEU、6.8%）、北海道（12千TEU、2.0%）の順となった。

なお、前年度と比較したところ、増加が著しい地域は、積地では中国（+21.2%）、揚地では東北（+23.4%）、九州（+21.2%）であり、減少が著しい地域は、積地では北海道（-19.0%）、揚地でも北海道（-20.5%）であった。

また、平成 13 年度以降の輸送実績の推移から、近年は、積地・揚地共に東北地方において増加傾向、四国地方において減少傾向が続いている。

(3) 地域間流動

平成 22 年度における地域間の流動量は、関西／中国・四国・九州の間及び関東／中部・東北・北海道の間で多く、総じて過去と同様の傾向にあるが、前年度実績との比較から、関西／中国・九州の間及び関東／中部・東北の間ではそれぞれ増加し、関西／四国の間及び関東／北海道の間では減少した。また、同様の比較から、平成 22 年度は関西／中部の間でも減少した。

① 実入、空コンテナ別の地域間流動

実入コンテナの積量は、関西、中国、関東、中部、東北の順で多く、空コンテナの積量は、関西、関東が多い。

実入コンテナの揚量は、関西、関東が多く、空コンテナの揚量は、中国、中部、関西、東北の順が多い。

② 20、40 フィート (ft) 別の地域間流動

20ft コンテナの積量は、関西、四国、中国、関東の順で多く、40ft コンテナの積量は、関西、関東、中国、東北、中部の順が多い。

20ft コンテナの揚量は、関西、関東、四国、中国の順で多く、40ft コンテナの揚量は、関西、関東、中部、中国、東北の順が多い。

なお、関東／中部・東北・北海道の間では、相対的に 40ft コンテナの取扱量が 20ft コンテナの取扱量に比べて多数を占めている。

内航船による外航コンテナフィーダ輸送量 平成22年度実績

[積地別]

積地	実入コンテナ			空コンテナ			合計			%
	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	
北海道	1,431	4,787	11,005	1,377	1,971	5,319	2,808	6,758	16,324	2.6%
東北	8,031	17,924	43,879	1,481	5,046	11,573	9,512	22,970	55,452	9.0%
関東	9,180	25,789	60,758	10,467	26,431	63,329	19,647	52,220	124,087	20.0%
中部	6,702	19,300	45,302	1,690	2,465	6,620	8,392	21,765	51,922	8.4%
関西	17,312	33,809	84,930	32,771	39,525	111,821	50,083	73,334	196,751	31.8%
四国	17,314	8,315	33,944	4,133	6,000	16,133	21,447	14,315	50,077	8.1%
中国	18,597	24,628	67,853	1,260	2,875	7,010	19,857	27,503	74,863	12.1%
九州	6,916	14,212	35,340	7,236	3,490	14,216	14,152	17,702	49,556	8.0%

総計	85,483	148,764	383,011	60,415	87,803	236,021	145,898	236,567	619,032	100%
----	--------	---------	---------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	------

[地域別]

北海道：北海道

東北：青森、岩手、宮城、福島

関東：東京、神奈川、茨城、千葉

中部：静岡、愛知、三重

関西：大阪、兵庫、和歌山

四国：香川、愛媛、徳島

中国：広島、岡山、山口

九州：福岡、大分、宮崎

[積地港別]

北海道：苫小牧、室蘭

東北：仙台、小名浜、八戸、釜石、相馬、宮古

関東：東京、横浜、川崎、常陸那珂、市原、鹿島

中部：名古屋、清水、御前崎、豊橋、四日市

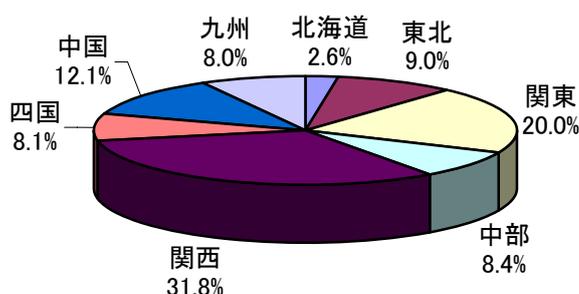
関西：神戸、大阪、姫路、泉大津、泉北、和歌山、網干

四国：今治、松山、新居浜、徳島、伊予三島、東予、高松

中国：水島、徳山、広島、岩国、防府、宇部、玉島、大竹

九州：博多、大分、志布志、ひびき、門司、細島、新門司、油津、八代

積地別取扱量



内航船による外航コンテナフィーダ輸送量 平成22年度実績

[揚地別]

揚地	実入コンテナ			空コンテナ			合計			%
	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	
北海道	2,023	4,128	10,279	160	990	2,140	2,183	5,118	12,419	2.0%
東北	2,714	10,967	24,648	5,598	12,673	30,944	8,312	23,640	55,592	9.0%
関東	17,563	42,617	102,797	4,690	7,790	20,270	22,253	50,407	123,067	19.9%
中部	4,602	10,545	25,692	7,373	19,688	46,749	11,975	30,233	72,441	11.7%
関西	42,508	56,142	154,792	10,032	15,545	41,122	52,540	71,687	195,914	31.6%
四国	5,338	7,943	21,224	16,096	4,394	24,884	21,434	12,337	46,108	7.4%
中国	4,869	8,809	22,487	12,659	17,972	48,603	17,528	26,781	71,090	11.5%
九州	5,866	7,613	21,092	3,807	8,751	21,309	9,673	16,364	42,401	6.9%

総計	85,483	148,764	383,011	60,415	87,803	236,021	145,898	236,567	619,032	100%
----	--------	---------	---------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	------

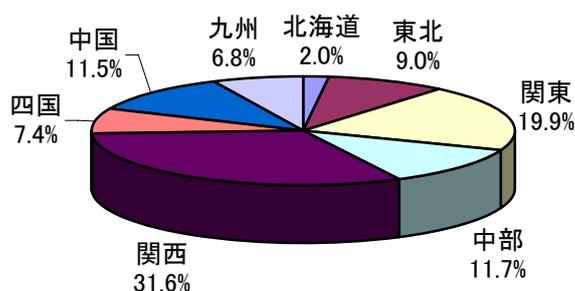
[地域別]

- 北海道：北海道
- 東北：青森、宮城、福島、岩手、秋田
- 関東：東京、神奈川、茨城、千葉
- 中部：静岡、愛知、三重、福井
- 関西：大阪、兵庫、和歌山
- 四国：香川、愛媛、徳島
- 中国：広島、岡山、山口
- 九州：福岡、大分、宮崎、沖縄

[揚地港別]

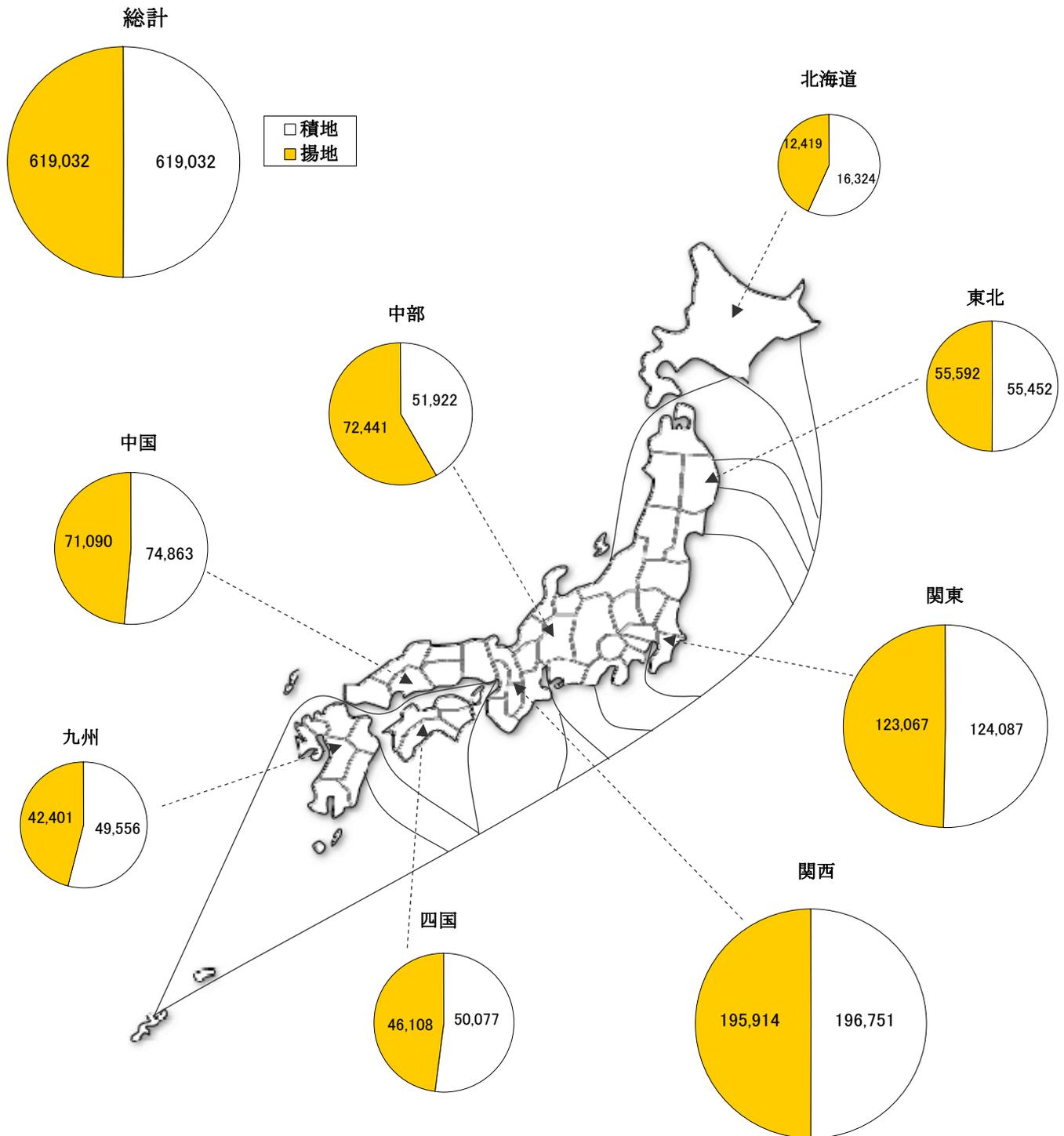
- 北海道：苫小牧、室蘭
- 東北：仙台、小名浜、八戸、相馬、釜石、宮古、秋田
- 関東：東京、横浜、川崎、常陸那珂、鹿島、市原
- 中部：名古屋、清水、御前崎、豊橋、四日市
- 関西：神戸、大阪、姫路、泉大津、和歌山、網干
- 四国：今治、松山、新居浜、徳島、伊予三島、東予、高松、三島川之江
- 中国：水島、徳山、広島、岩国、防府、宇部、玉島、大竹、呉
- 九州：博多、大分、志布志、ひびき、門司、細島、新門司、那覇、油津

揚地別取扱量



内航フィーダー網及び輸送量

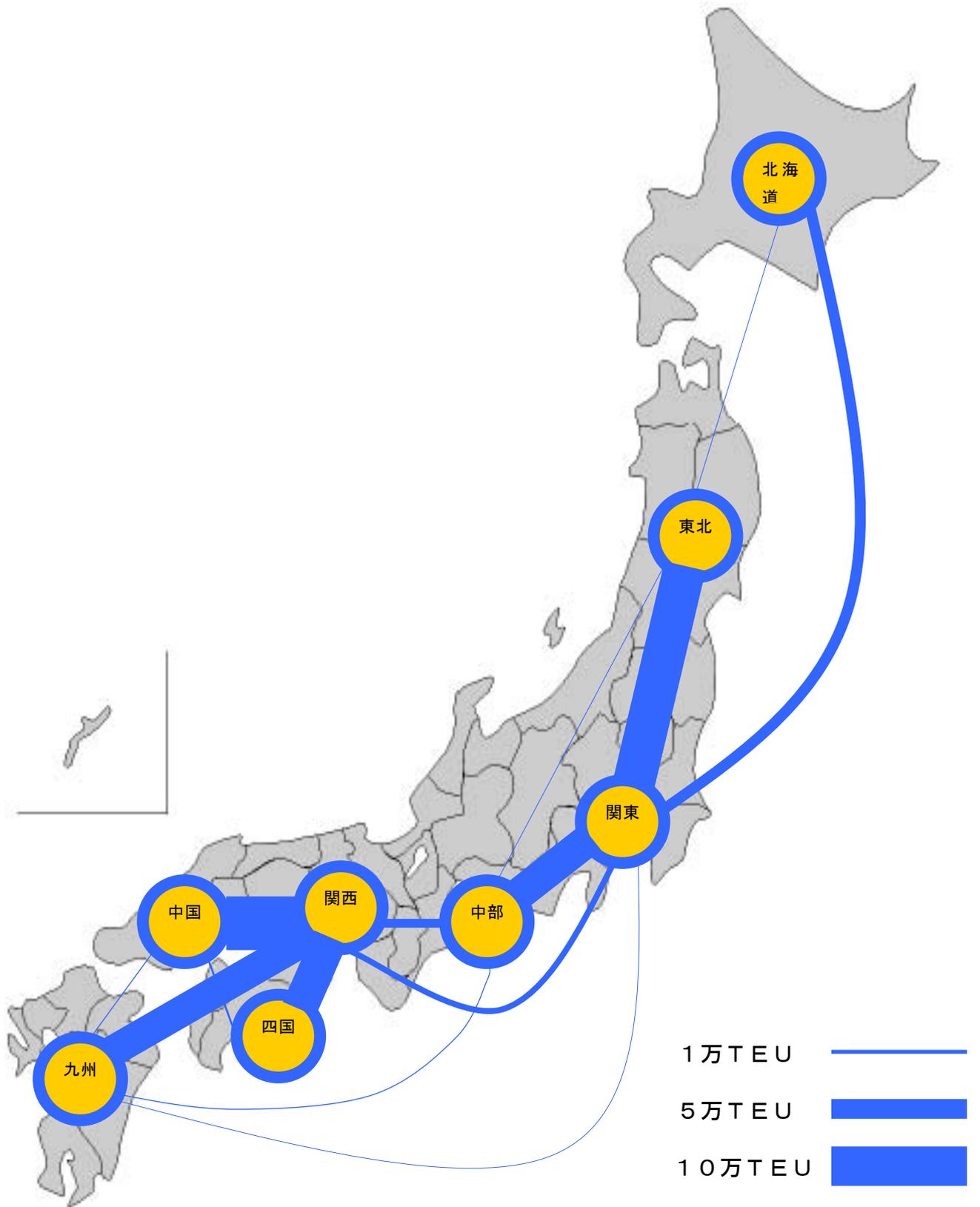
(内航船による外航コンテナ二次輸送量 平成22年度実績)



注1. 国内の二次コンテナ輸送のための積・揚総量(through put)は、1,238,064TEUとなる。

注2. 輸送実績は内航船及びフェリー船によるもので、特許により外航船による輸送量は含まれていない。

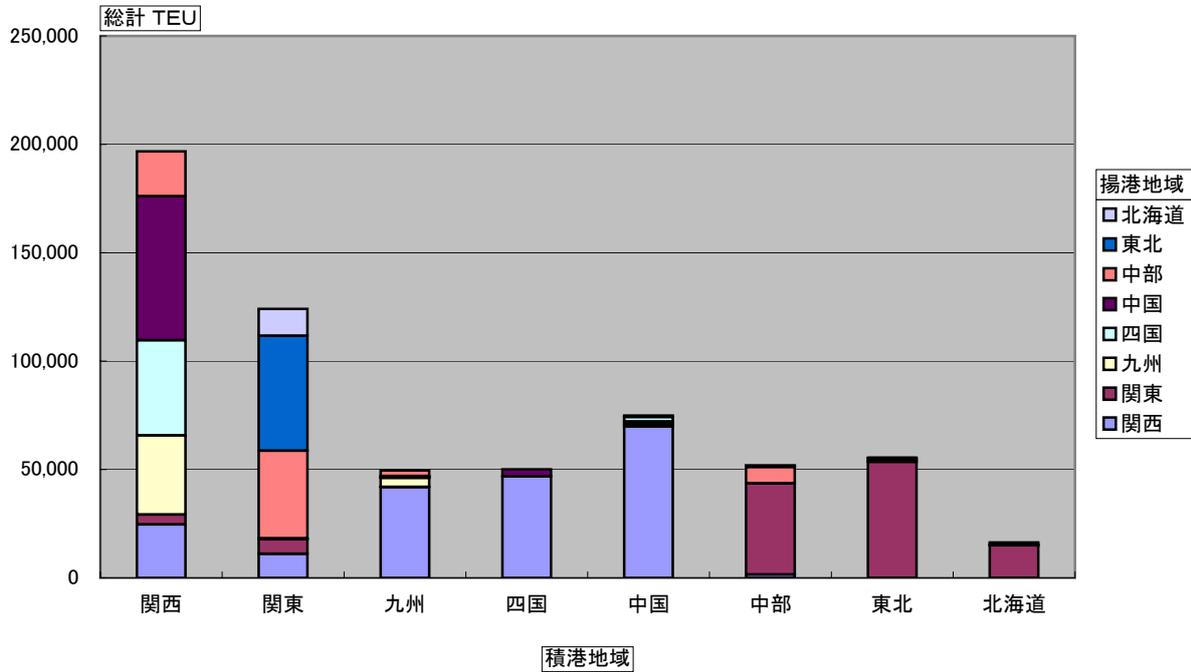
内航フィーダコンテナの主な地域間流動（平成22年度）



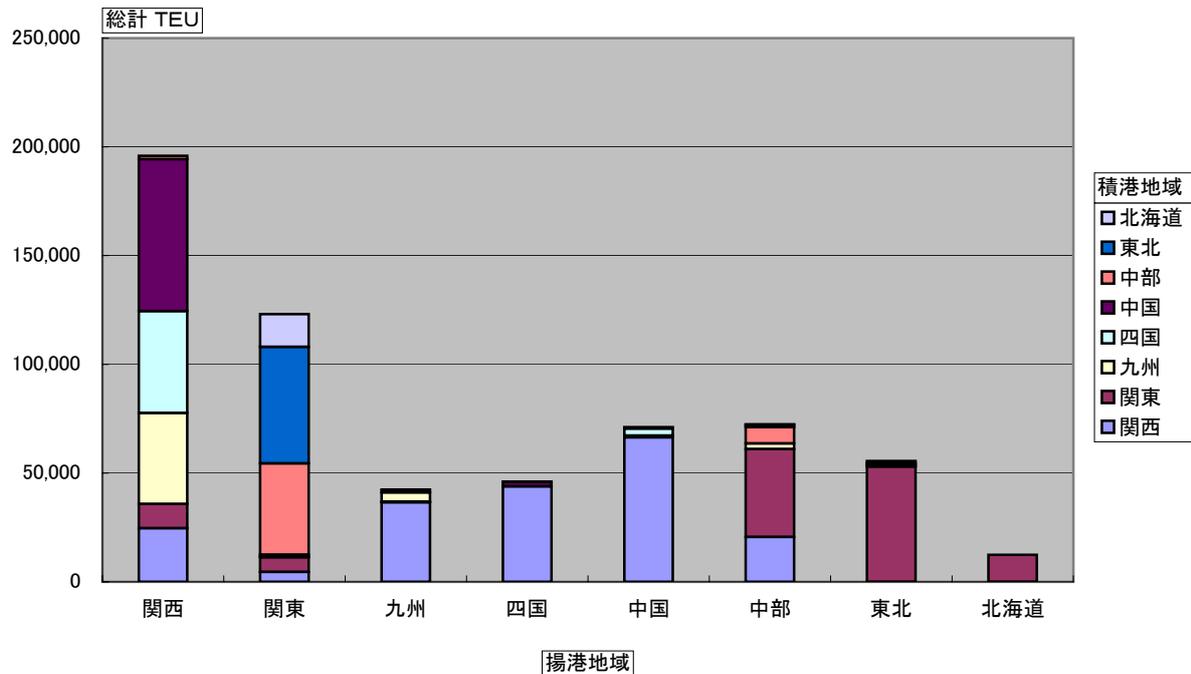
(実入り・空コンテナを含む年間の輸送量)

地域間流動比較(総計TEU)

1. 積港地域別流動比較

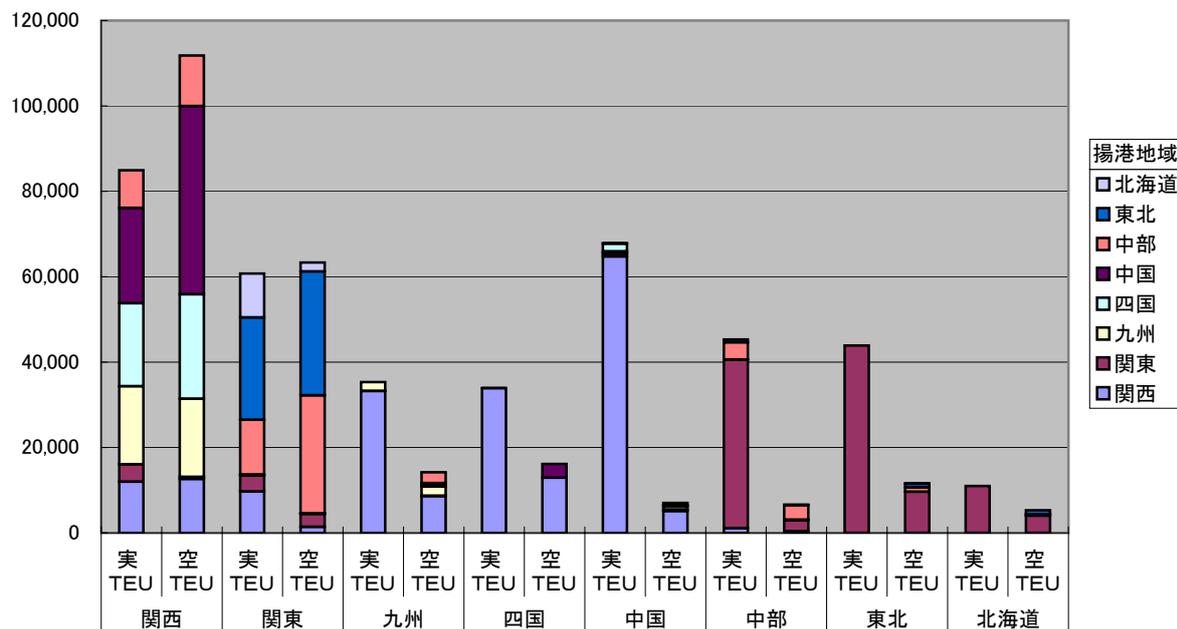


2. 揚港地域別流動比較



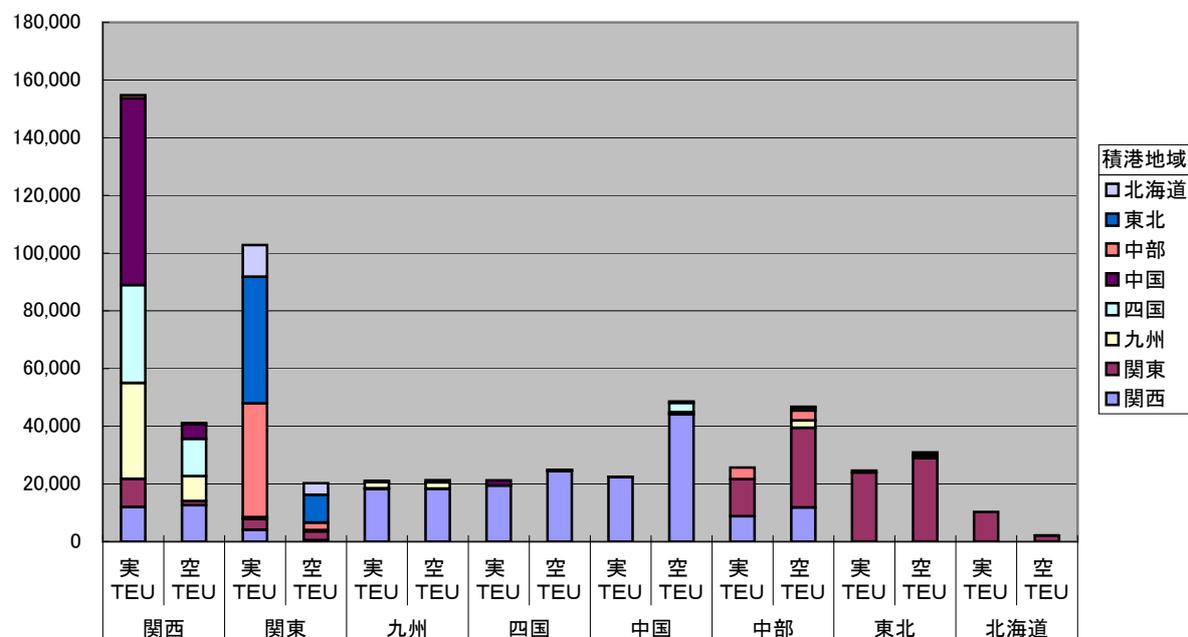
地域間流動比較(実入、空TEU)

1. 積港地域別流動比較



積港地域データ

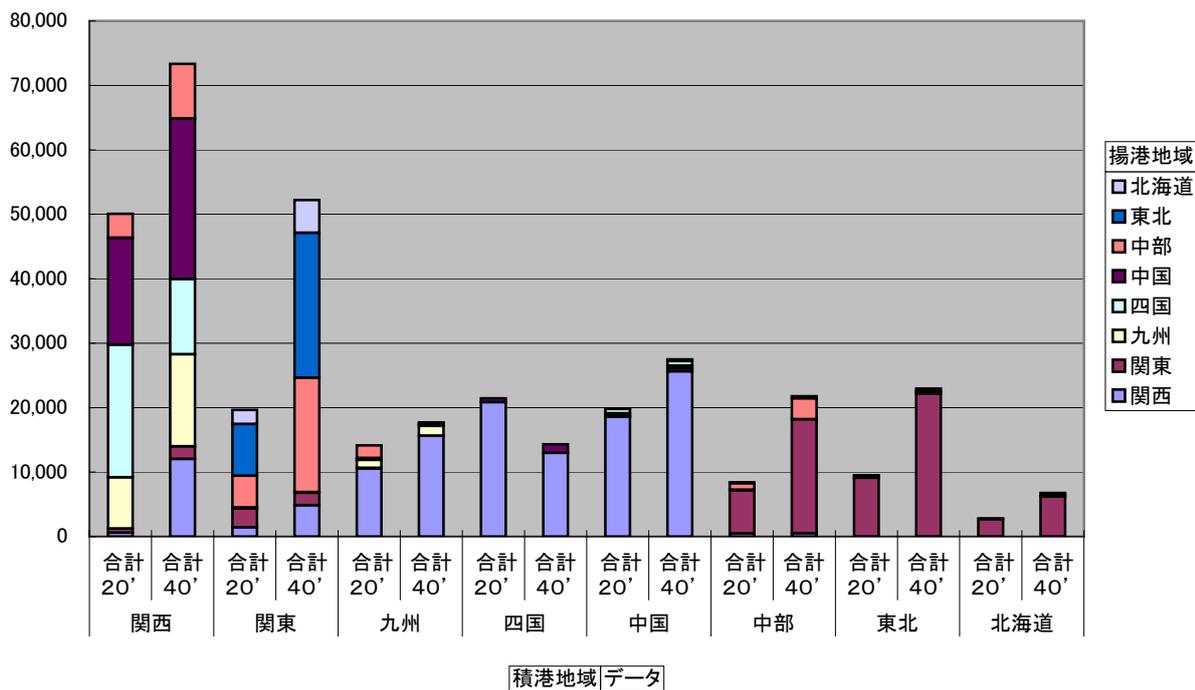
2. 揚港地域別流動比較



揚港地域データ

地域間流動比較(20'、40' TEU)

1. 積港地域別流動比較



2. 揚港地域別流動比較

